

平成26年度
岡山県学力・学習状況調査

調査結果を活用した授業改善のポイント



岡山県教育庁義務教育課

国語



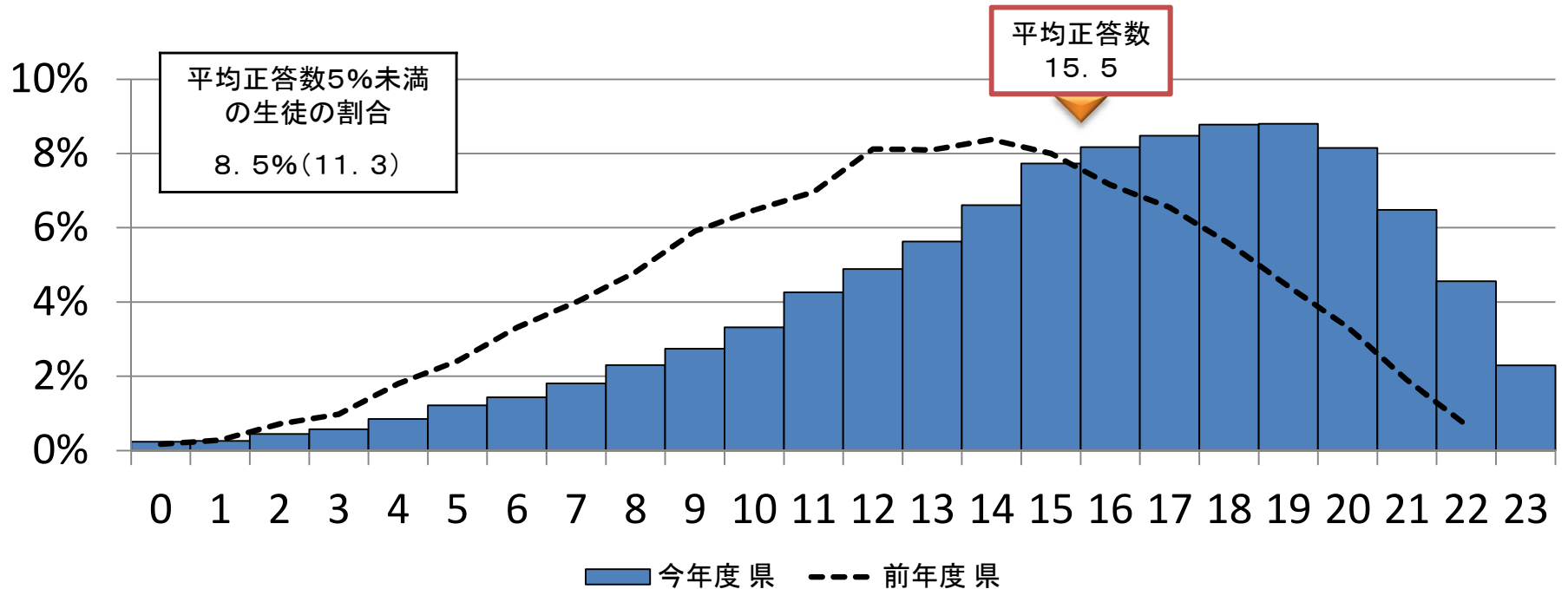
○ 国語科平均正答率

※()内はH25年度結果
 ※今年度は「書く能力」に関する問題は出題していない。(%)

国語	平均正答率	観点別平均正答率			
		話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
	67.4 (58.0)	71.4 (-)	— (50.2)	42.9 (41.4)	79.3 (71.4)

○ 国語科正答数度数分布

(横軸:生徒ごとの正答した設問の数、横軸:生徒数の割合)



○ 設問ごとの状況

大問 番号	中間 番号	小問 番号	出題のねらい	観点	正答率	無解答率	正答率グラフ
1	(1)	①	小学校で学習した漢字(重ねる)を読むことができる。	言	97.9	0.5	96.2★
		②	小学校で学習した漢字(至急)を読むことができる。	言	86.8	2.6	
		③	小学校で学習した漢字(規則)を読むことができる。	言	93.5	2.1	
	(2)	①	小学校で学習した漢字(ビヨウイン)を書くことができる。	言	83.4	3.2	75.3★
		②	小学校で学習した漢字(コキュウ)を書くことができる。	言	81.6	6.4	
		③	小学校で学習した漢字(アラウ)を書くことができる。	言	91.7	3.3	
2	(1)	文の定義を理解することができる。	言	51.1	10.8	33.3◎	
	(2)	小学校で学習した漢字を理解することができる。	言	84.3	0.7	35.3◎	
	(3)	多義語を理解することができる。	言	84.8	0.7	80.4◎	
	(4)	文の意味のつながりを考えて一文を二文に分けて書くことができる。	言	37.6	12.9	20.7◎	
3	(1)	ア	目的に応じて文章を読み取り、調査結果を理解したうえでまとめることができる。	話す聞く	67.4	7.9	
		イ	目的に応じて文章を読み取り、調査結果を理解したうえでまとめることができる。	話す聞く	68.6	7.9	
		ウ	目的に応じて文章を読み取り、調査結果を理解したうえでまとめることができる。	話す聞く	82.0	7.7	
	(2)	目的に応じて文章を読み取り、司会の役割を理解したうえで話し合いを進行することができる。	話す聞く	86.1	1.1		
	(3)	目的に応じて文章を読み取り、話し合いでの発言の意図を理解することができる。	話す聞く	70.0	1.4		
	(4)	目的に応じて文章を読み取り、司会の役割を理解することができる。	話す聞く	67.6	1.7		
4	(1)	目的に応じて文章を読み取り、話し合いの流れに沿った適切な文章を記述することができる。	話す聞く	57.8	16.2		
	(1)	文章に書かれている情景を想像しながら、描写を読み取ることができる。	読	64.0	5.5		
	(2)	文章に書かれている短歌の特徴を理解したうえで、作者の意図を読み取ることができる。	読	32.8	2.8		
5	(3)	文章に書かれている内容を理解したうえで、自分の考えを記述することができる。	読	63.5	15.1		
	(1)	登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	読	31.4	7.3		
	①	登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	読	30.2	20.7		
		②	登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	読	35.2	25.9	
					67.4	-	

昨年度課題であった「漢字の書き」について改善の兆しが見られるものの、確実な定着に向け、更なる取組が必要。

過去課題のあった設問の類似問題において、大きく改善！！

複数の条件を付した記述を求める設問や、目的に応じた読み取り、登場人物の心情に即した読み取りに課題

成果

- 基礎的・基本的な知識・技能を問う設問においては、漢字の読みや文法等に成果が見られ、特に過去の調査で課題であった同一・類似の設問において改善が見られた。

課題

- 漢字の書きについては、確実な定着に向け、更なる取組が求められる。
- 複数の条件を付した記述を求める設問において、正答率が低く、無解答率が高い傾向が見られる。目的に応じた読み取りや、登場人物の心情等に即した読み取りに課題があると考えられる。

- ① 課題の見られた調査問題の設定状況や内容から、どのような力が問われているかを読み解く。
- ② 問題の趣旨、正答の条件から、日々の授業の評価規準を明確にする。
- ③ 解答類型から、児童生徒の実態を把握する。
- ④ 生徒質問紙から、授業を検証する。
- ⑤ 中学校区で授業改善に取り組む。
- ⑥ 読書活動の充実に努める。
- ⑦ 求められている力を育むための指導例。

平成26年度岡山県学力・学習状況調査結果を活用した授業改善のポイント【国語】

□ 中心となる登場人物について、その相互関係を捉え、それらに基づいて心情や場面の描写を読み取る力が問われているのですね。



国語の問題 5

5 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「祥吾(シヨウウ)」たちのクラスでは、「かめちゃん」という名前のカエルを教室で飼っていた。「草馬(イソツバ)」に託して、「かめちゃん」は心を癒(な)してくれる特別な存在だった。ある日、「かめちゃん」は教室から逃げ出した。「祥吾」たちは、近所の「佐藤のおじさん、おばさん」の家の庭で「かめちゃん」を見つけた。

青木和雄・吉富多美「イソツバ」金の風社 による。

① この文章を読んだ高田(たかた)さんは、登場人物の心情について、下の図のようにまとめました。図の中の、ア・イにあてはまる言葉として最も適切なものを、次の1から5までのの中から一つずつ選んで、その番号を書きなさい。

- 自分からは、かめちゃんを解放するよう言い出せない。
- かめちゃんに、週に二回会えれば十分だと思っている。
- かめちゃんを、ひとりぼっちにさせたくないと思っている。
- かめちゃんのことを、大切な心の友だと感じている。
- クラスで、かめちゃんの世界話をすればよいと思っている。

草馬(イソツバ)の心情: かめちゃんを解放してあげたいほうがよいと思っている (ア)

祥吾(シヨウウ)の心情: 草馬のことを気にしている

佐藤のおじさん、おばさんの心情: 草むしりのアルバイトを提案

千里の春歌の心情: 解放すること、かめちゃんをの望みだと思っている (イ)

青木和雄・吉富多美「イソツバ」金の風社 による。

小学校学習指導要領 国語編 平成20年8月

P89 第5・6学年の内容

「C 読むこと」

(2)①エ 文学的な分掌の解釈に関する指導事項

〈略〉登場人物の相互関係から人物像やその役割をとらえ、そのことによって、内面にある深い心情もあわせてとらえることにつないでいく。登場人物の心情は、直接的に描写されている場合もあるが、登場人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている場合もある。このような表現の仕方にも注意し、想像を豊かにしながら、読むことが大切になる。

(2) 高田^{たかだ}さんは、この文章の印象に残った文について、次のようにまとめようとしています。あなたなら、草馬^{そうま}の「うれしさ」と「さびしさ」について、どのように考えますか。

次の①・②にあてはまる言葉を、それぞれ前の言葉に続くように書きなさい。

22
23

〈印象に残った文〉

「笑顔^{えがお}なのに、草馬の目には、うつすらと涙^{なみだ}がうかんでいる。」

〈考え〉

草馬は、このとき、うれしさ^{うれしさ}とさびしさ^{さびしさ}の両方を感じていたのだと思う。

草馬が、

・うれしさを感じているのは、
・さびしさを感じているのは、

①から
②から

	正答率	無解答率
(2) ①	30.2	20.7
(2) ②	35.2	25.9

◆ 出題のねらい

文学的な文章において、登場人物の心情や場面についての描写を捉えたり、主人公の心情について自分の考えを書いたりすることができるかどうかをみる。

◆ 正答例 (2)②

(例)

草馬にとって特別な存在のかめちゃんと離れる決心をした(から)

〈正答条件〉以下の**3条件を満たして解答**しているもの。

- 条件①特別な存在のかめちゃん(カエル)と、
- 条件②離れる決心をした、という内容を、
- 条件③理由を表す表現で書いている。

- ・①は、「かめちゃん」が(草馬にとって)「特別な存在」であることを書いていれば可。
(例)「心を癒してくれたかめちゃん」、「大好きなかめちゃん」、「大切なかめちゃん」
- ・①は、「かめちゃん」のみでは、①△。
- ・②は、同様の内容が書かれていれば可。

解答類型	正誤	反応率
条件①②③を満たしているもの	◎	2.7
条件②③を満たし、条件①を部分的に満たしているもの 【補足】 * <正答条件>①△の場合。	○	32.4
条件①②を満たし、条件③を満たしていないもの	×	0.0
上記以外の解答	×	39.0
無解答	×	25.9

<正答条件>以下の**3条件を満たして解答**しているもの。

条件①特別な存在のかめちゃん(カエル)と、
条件②離れる決心をした、という内容を、
条件③理由を表す表現で書いている。

- ・①は、「かめちゃん」が(草馬にとって)「特別な存在」であることを書いていれば可。
(例)「心を癒してくれたかめちゃん」、「大好きなかめちゃん」、「大切なかめちゃん」
- ・①は、「かめちゃん」のみでは、①△。
- ・②は、同様の内容が書かれていれば可。



解答類型2や9の解答とは、どのような解答ですか？

【解答類型2】条件②③を満たし、条件①を部分的に満たしているもの

(例)

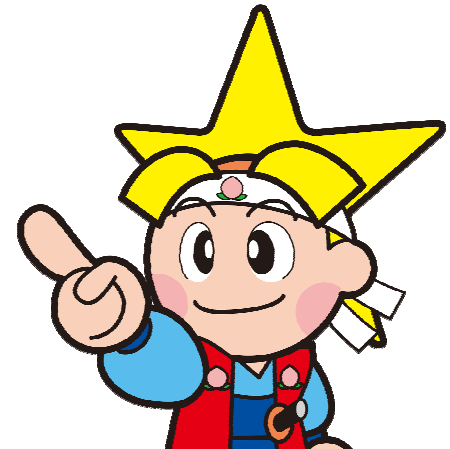
かめちゃんを逃がすことにした(から)

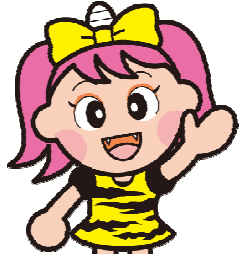
【解答類型9】上記以外の解答

(例)

かめちゃんが教室から逃げ出した(から)

□ 登場人物同士の相互関係を捉えた上で
の心情の読み取りとしては不十分という
ことですね。



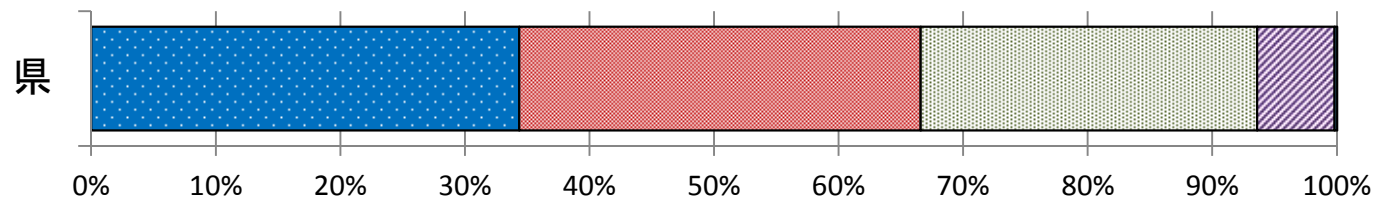


無解答率が①20.7%、②25.9%と高いのですが、
どうしてでしょう？

- 「書けなかった」生徒もいれば「書かなかった」生徒もいるのではないのでしょうか？
- 生徒質問紙では、33.2%の生徒が「解答時間は十分でしたか」という質問に「足りなかった」「どちらかといえば足りなかった」と回答していますが、半数以上の生徒は「解答時間は足りた」と解答しています。
- 「設問の意味が分からない」「設問の意味は分かるけど、何を取り上げたらよいか分からない」「考えがうまくまとめられない」等、様々な理由が考えられますが、それぞれに必要な指導の手立てが変わってきます。

【生徒質問紙(62)】 調査問題の解答時間は十分でしたか(国語)

1 時間があまった	2 ちょうどよかった	3 やや足りなかった	4 全く足りなかった	無解答
34.3	32.2	27.0	6.2	0.2



「無解答」の理由ごとの指導の手立ての例

問われている設問の意味が分からない

- ▶ 分析的な読みの指導や設問を複数回読み返す習慣付け

設問の意味は分かるけど、どこを取り上げたら良いか分からない

- ▶ 解答に必要な事項を取り出す指導(分かっていることと分からないことの区別)

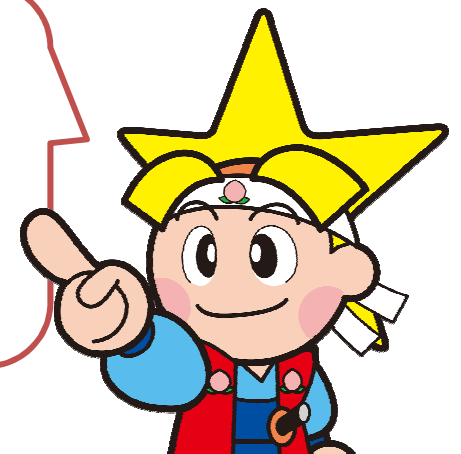
考えがうまくまとめられない

- ▶ 思考・判断したことを記述し、記述を基に再思考する指導(下書きの活用)

□ その他、授業の中での...

- 時間管理
- 明確なめあての提示と、めあてに対応したまとめ
- 児童生徒の発言に対する評価

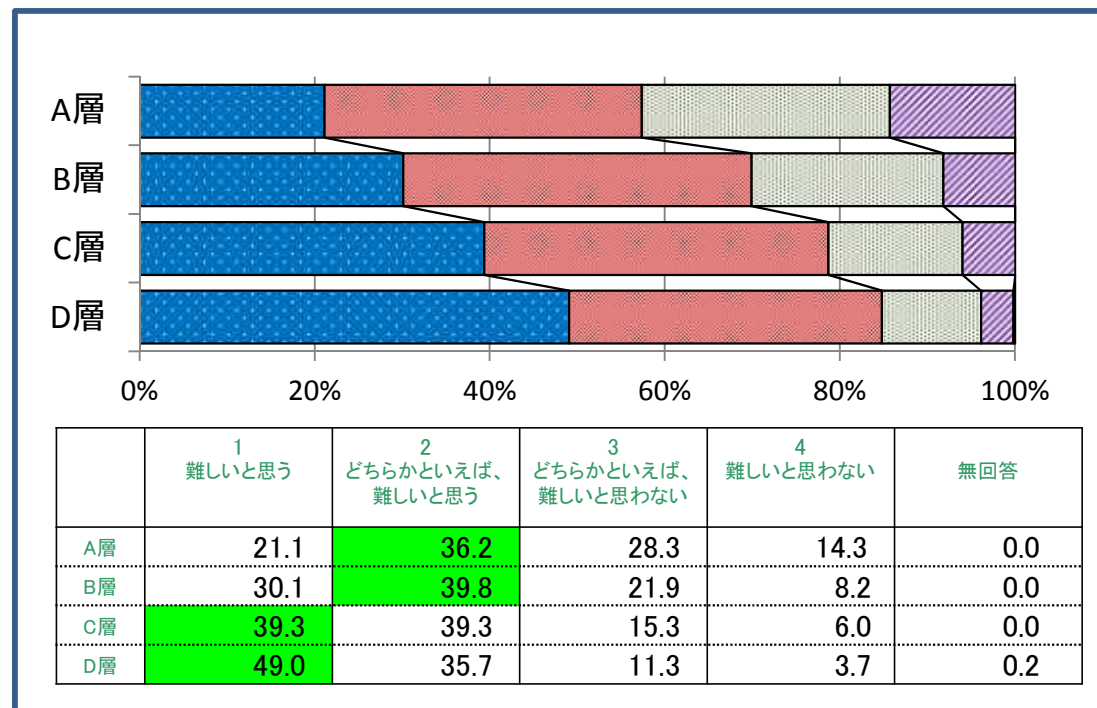
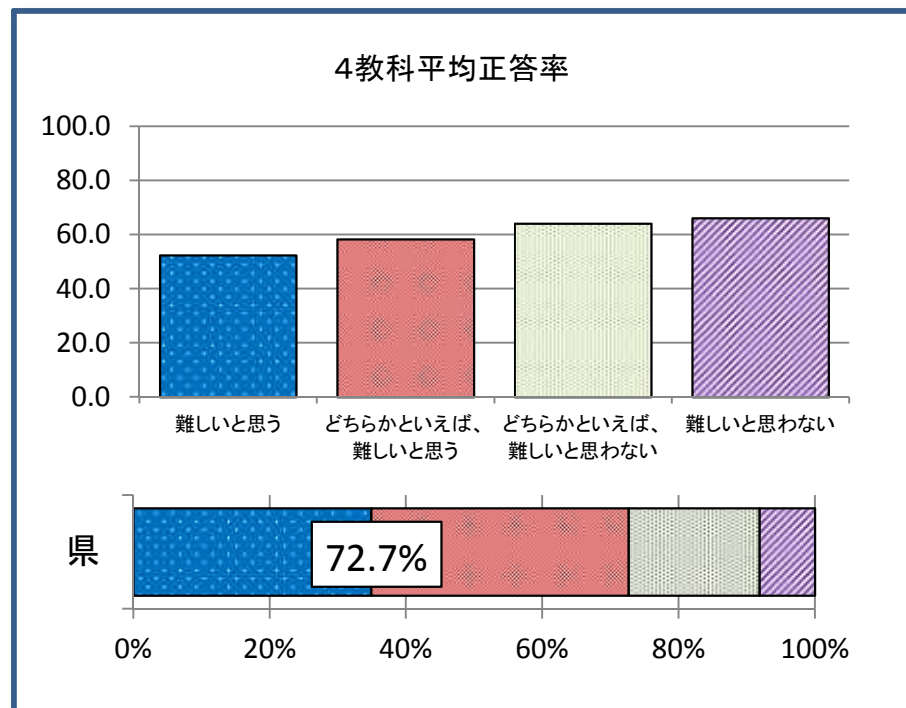
なども大切



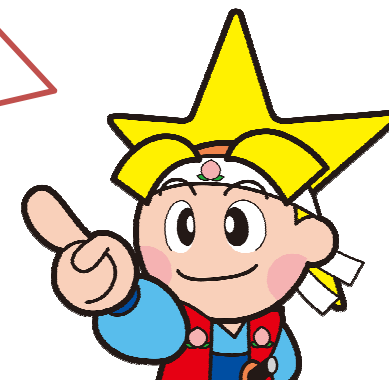
④生徒質問紙から、授業を検証する

平成26年度岡山県学力・学習状況調査結果を活用した授業改善のポイント【国語】

【生徒質問紙(31)】学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいですか。



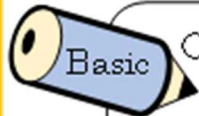
- 岡山県全体で72.7%の生徒が「難しい」「どちらかといえば難しい」と回答しています。
- 学力階層別に見ると、D層の生徒の約半数が「難しい」と回答しています。
- 一方、89.6%の生徒が、「授業の中で、自分の考えを持つ時間があつた」と回答しています。
- 自分の考えを持つ時間を確保するだけでなく、考えを書く活動や、与えられた条件にあつた文章を書く活動など、ていねいに指導することが必要です。



※A～D層は、県全体の生徒を正答率の高い順に人数比で上位から25%ごとに4区分したものです。

◆ 自分の考えを持ったり、友達に説明したりする力を身に付けさせるためには...

②自分で考え、表現する時間を確保する



- 一人一人の児童生徒が、めあてに対する自分の考えをもち、その考えを表現することができる方法を示します。
- もった考えを交流することで、考えを深めたり広げたりすることができるようにします。



児童生徒一人一人に、「伝えたい、他の人の考えを聞きたい」と思える「自分の考え」をもたせることが重要です。
グループ学習においても必ず自分の考えをもって話し合いに臨むようにさせることが大切です。



- 考えをまとめたり、書いたりする時には、児童生徒の発達段階に応じて、字数の制限をしたり、根拠を明らかにした記述になるよう条件を付したりすることも考えられます。

○自分の考えをもつために

HINT !

- * 児童生徒が、めあてに対する自分の考えをもつために、教員は思考・表現の手がかりとなるものを示したり、準備したりします。
- ・考える視点の提示
- ・ワークシートの工夫
- ・資料等の量的・質的充実 など

○発表して終わりにしないために

HINT !

- * グループ学習・ペア学習を行う場合は、話し合うこと自体を目的とするのではなく、互いの考えを交流することで児童生徒に身に付けさせたい力を意図した学習活動を取り入れます。
- ・相手に説明する
- ・相手に説得する
- ・互いの考えを比べる
- ・発想を広げる など



⑤ 中学校区で授業改善に取り組む

平成26年度岡山県学力・学習状況調査結果を活用した授業改善のポイント【国語】

◆ 系統性を踏まえた授業づくり～学年間／小・中の接続～

平成26年度
岡山県学力・学習状況調査

中学校 第1学年
国語

実施時間：45分

この問題で問われている力を付けるためには、どんな指導が必要なのだろう？

3. 印刷ではつ...

4. 筆記用具以外は、机の上に出か...

1年 組

岡山県教育委員会

設問別調査結果の分析 [中1国語②]

平成26年度 中学校1年 岡山県学力・学習状況調査 国語 ②問題情報

大問番号	設問番号	問題形式	難易度	基礎	応用	問題の内容	領域	学習指導要領	校数	点	偏差値	県平均との差
1	①	★	◎	◎	○	漢字の読み		小3-4年 伝説(1)(イ)	100.0	97.9	2.1	
2	(1)②	★	◎	◎	○	漢字の読み		小5-6年 伝説(1)(ア)	95.0	86.8	8.2	
3	③	★	◎	◎	○	漢字の書き	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	小3-4年 伝説(1)(イ)	80.0	93.5	-3.5	
4	(1)④	★	◎	◎	○	漢字の書き	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	小3-4年 伝説(1)(イ)	85.0	83.4	1.6	
5	(2)②	★	◎	◎	○	漢字の書き	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	小5-6年 伝説(1)(ア)	80.0	81.6	-1.6	
6	③	★	◎	◎	○	漢字の書き	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	小5-6年 伝説(1)(ア)	75.0	91.7	-16.7	
7	(1)	★	◎	◎	○	文法・語句に関する知識		小1-2年 伝説(1)(カ)	70.0	51.1	18.9	
8	(2)	★	◎	◎	○	文法・語句に関する知識	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	小5-6年 伝説(1)(ア)	65.0	84.3	-19.3	
9	(3)	★	◎	◎	○	文法・語句に関する知識	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	小3-4年 伝説(1)(イ)	60.0	84.8	-24.8	
10	(4)	★	◎	◎	○	文法・語句に関する知識	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	小5-6年 伝説(1)(イ)	55.0	37.6	17.4	
11	ア	★	◎	◎	○	オープンスクールについての話し合い	話すこと-聞くこと	小5-6年 伝説(1)(イ)	50.0	67.4	-17.4	
12	(1)イ	★	◎	◎	○	オープンスクールについての話し合い	話すこと-聞くこと	小5-6年 A(1)イ	45.0	66.6	-23.6	
13	ウ	★	◎	◎	○	オープンスクールについての話し合い	話すこと-聞くこと	小5-6年 A(1)イ	40.0	82.0	-42.0	
14	3(2)	★	◎	◎	○	オープンスクールについての話し合い	話すこと-聞くこと	小5-6年 A(1)イ	35.0	86.1	-51.1	
15	(3)	★	◎	◎	○	オープンスクールについての話し合い	話すこと-聞くこと	小5-6年 A(1)イ	30.0	70.0	-40.0	
16	(4)	★	◎	◎	○	オープンスクールについての話し合い	話すこと-聞くこと	小5-6年 A(1)イ	25.0	67.6	-42.6	
17	(5)	★	◎	◎	○	オープンスクールについての話し合い	話すこと-聞くこと	小5-6年 A(1)イ	20.0	57.8	-37.8	
18	(1)	★	◎	◎	○	オープンスクールについての話し合い	話すこと-聞くこと	小5-6年 A(1)イ	15.0	64.0	-49.0	
19	(2)	★	◎	◎	○	オープンスクールについての話し合い	話すこと-聞くこと	小5-6年 A(1)イ	10.0	32.8	-22.8	
20	(3)	★	◎	◎	○	オープンスクールについての話し合い	話すこと-聞くこと	小5-6年 A(1)イ	5.0	63.5	-58.5	
21	(1)	★	◎	◎	○	オープンスクールについての話し合い	話すこと-聞くこと	小5-6年 A(1)イ	0.0	31.4	-31.4	
22	5(2)①	★	◎	◎	○	オープンスクールについての話し合い	話すこと-聞くこと	小5-6年 A(1)イ	5.0	30.2	-25.2	
23	②	★	◎	◎	○	オープンスクールについての話し合い	話すこと-聞くこと	小5-6年 A(1)イ	10.0	35.2	-25.2	
計									100.0	67.4	32.6	

手順①分析(国語②)

Page.1

調査問題、調査結果を持ち寄り、今後の国語科学習指導の在り方の検討を




「書くこと」の力がずっと課題だけど、どんなところでつまづいているのかしら？

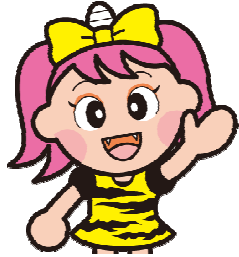
この問題は、中学校の指導内容と、どうつながっているのかしら？

◆ 系統性を踏まえた授業づくり～学年間／小・中の接続～

C 読むこと「文学的な文章の解釈」の発展系統(学習指導要領から)



小学校	第1・2学年	場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。
	第3・4学年	場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。
	第5・6学年	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。
中学校	第1学年	文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。
	第2学年	文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。
	第3学年	文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。

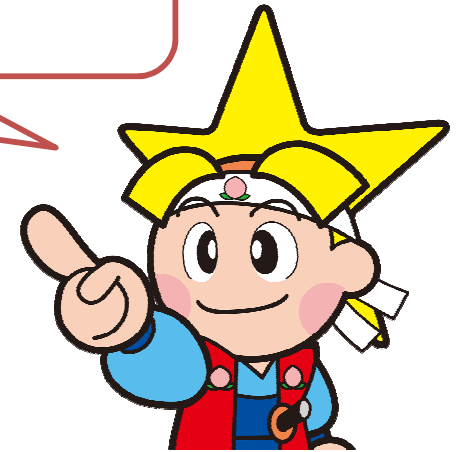


子どもたちの「読む力」を高めるためには、読書活動の充実が必要なのでは？

- 朝読書や家庭での読書活動を充実させることが必要ですが、ただ漫然と本を読むだけでなく、児童生徒の発達段階に応じて「目的に応じた読書」の指導をする必要があります。

小学校における「目的に応じた読書」の指導内容

小学校	第1・2学年	楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。
	第3・4学年	目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。
	第5・6学年	目的に応じて、複数の文章などを選んで比べて読むこと。



中学校における「読書と情報活用」の指導内容

中学校	第1学年	本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。
	第2学年	多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。
	第3学年	目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。

■ 目的や意図に応じて、必要となる事実を読み取る力

比べ読みのほか、速読、本や文章全体を概観しながら拾い読みする摘読、同じ課題で多くの本を重ねたり並行させたりして読む多読などの中から、目的に応じた効果的な読み方を選択し、活用できるように指導することが必要。

<指導例>

必要となる事実を読み取らせるために、事例、考えの理由や根拠などに、色分けをしてサイドラインを引かせるなどの学習活動に取り組む。

■ 目的や意図に応じて、複数の情報を関係付けて読む力

どのようなことが必要とされているのかを押さえ、文章の内容の中心となる事柄や書き手の考えの中心となる事柄を捉えることができるように指導することが必要。

<指導例>

はじめに、目的に応じて必要となる情報を取り出す。次に、取り出した複数の情報を比較し、分析、統合する。最後に、与えられた条件(字数など)に合わせて、情報を操作し加工する学習活動に取り組む。

■ 条件に合わせて自分の考えをまとめる力

自分の知識や経験、考えなどと関係付けながら文章を読み、それに対する自分の考えを条件(字数など)に合わせて簡単に書いたり、詳しく書いたりすることができるように指導することが必要。

<指導例>

文章から把握できる事実を根拠として挙げながら理由を明確にして自分の考えをまとめて書くことや、考えたことを発表する交流活動を通して、必要に応じて、他者の考えを自分の考えに取り入れることができるようにする。授業の中で、共通点や相違点に目を向けさせる活動を行い、読み手を意識し表現を工夫するような学習活動に取り組む。